

CHIC:



2021年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社シック・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 福地 泰
(コード番号：7365 東証マザーズ)
問 い 合 せ 先 取締役経営管理本部本部長 鈴木 良助
電 話 番 号 0 3 - 5 3 1 2 - 2 3 0 3

上場廃止となった子会社（株式会社アクトコール）に関する決算開示について

2021年4月1日付で完全子会社化となった株式会社アクトコールに関する「2021年9月期第2四半期決算短信（2020年10月1日～2021年3月31日）」について、別紙のとおりお知らせいたします。

なお、株式会社シック・ホールディングスの2021年9月期連結業績予想及び配当予想につきましては、2021年4月1日公表の「株式会社シック・ホールディングスの設立及び2021年9月期連結業績予想、配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

以上



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 株式会社シック・ホールディングス
 (株式会社アクトコール分) 上場取引所 東
 コード番号 7365 URL https://chic-holdings.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福地 泰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部本部長 (氏名) 鈴木 良助 TEL 03-5312-2303
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績 (2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	2,458	—	325	—	296	—	183	—
2020年9月期第2四半期	2,380	7.9	487	19.2	450	25.6	306	11.3

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 328百万円 (—%) 2020年9月期第2四半期 299百万円 (7.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	16.28	16.22
2020年9月期第2四半期	36.75	35.86

(注) 2020年9月期より決算期を11月30日から9月30日に変更しております。これに伴い、2021年9月期第2四半期 (2020年10月1日から2021年3月31日) は、比較対象となる2020年9月期第2四半期 (2019年12月1日から2020年5月31日) とは対象期間が異なるため、2021年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	9,541	5,209	54.5
2020年9月期	9,533	4,895	51.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 5,200百万円 2020年9月期 4,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 2021年3月30日付で株式会社アクトコールの普通株式が上場廃止になったことを踏まえ、配当予想及び業績予想は行っておりません。なお、株式会社アクトコールの完全親会社である株式会社シック・ホールディングスの2021年9月期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、同社が2021年4月1日に公表いたしました「株式会社シック・ホールディングスの設立及び2021年9月期連結業績予想、配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	11,253,700株	2020年9月期	11,249,500株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	1,071株	2020年9月期	1,071株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	11,252,352株	2020年9月期2Q	8,350,507株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

株式会社アクトコールは、2021年4月1日付で、単独株式移転により完全親会社である株式会社シック・ホールディングスを設立し、同社の完全子会社となりました。2021年9月期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、同社が2021年4月1日に公表いたしました「株式会社シック・ホールディングスの設立及び2021年9月期連結業績予想、配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

前連結会計年度は、決算期の変更により2019年12月から2020年9月までの10ヶ月決算となっております。これにより、当第2四半期連結累計期間(2020年10月1日から2021年3月31日)は、比較対象となる前第2四半期連結累計期間(2019年12月から2020年5月)と対象期間が異なるため、前年同四半期との比較は行っていません。

当第2四半期連結累計期間(2020年10月1日から2021年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛要請や営業時間の短縮要請などによる経済活動の縮小により、個人消費及び企業収益は急激な悪化が続く厳しい状況となりました。また、緊急事態宣言が再発出されるなど、先行きについても極めて不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、リモートでの営業や顧客対応のコールセンター運営を強化すること等により、引続き主力事業である住生活関連総合アウトソーシング事業、決済ソリューション事業に当社グループの経営資源を集中させてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,458百万円、営業利益325百万円、経常利益296百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益183百万円となりました。
各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(住生活関連総合アウトソーシング事業)

住生活関連総合アウトソーシング事業においては、緊急駆けつけ等会員制サービス、コールセンターサービスその他住生活に関わるサービスの開発、提供を行っております。

当社グループが市場とする不動産賃貸業界において“働き方改革”にはじまる企業の業務効率化やアウトソーシング需要が高まっていることにより、当第2四半期連結累計期間においても、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により営業活動が制限される中、不動産業界向けの緊急駆けつけ等会員制サービスにおける新規獲得は堅調に推移いたしました。

一方で、コールセンターサービスの応答率の向上のための施策としてコールセンター外注費等を引続き増加させたため、売上原価は増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間末時点の累計有効会員数は、前連結会計年度末より増加し595千人となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,752百万円、営業利益は56百万円となりました。

(不動産総合ソリューション事業)

不動産総合ソリューション事業においては、サービスオフィス運営事業を譲渡し、保有する賃貸不動産を売却したことにより、前連結会計年度末をもって撤退しております。

(決済ソリューション事業)

決済ソリューション事業においては、不動産賃貸管理会社、不動産オーナー向けに、家賃の概算払いと出納業務を組み合わせた家賃収納代行サービス等を提供しております。

前連結会計年度に続き、コロナウイルス感染症の拡大の影響がある中、リモートでの営業の強化などによる保証会社との営業を強化するとともに、積極的に不動産会社へのアプローチを行いました。

また、住宅購入希望者の年収や勤務形態により住宅ローンの返済能力をスコアリングする新たなDXサービス『インサイトスコア』を提供を開始いたしました。

この結果、売上高は706百万円、営業利益は280百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は9,541百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が687百万円減少、立替金が481百万円増加、投資有価証券(投資その他の資産(その他))が210百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,331百万円となり、前連結会計年度末に比べ306百万円減少いたしました。これは主に、預り金が278百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産につきましては、5,209百万円となり、前連結会計年度末に比べ314百万円増加いたしました。これは主

に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加182百万円、その他有価証券差額金145百万円の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ687百万円減少し、4,494百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は下記のとおりであります。

前連結会計年度は、決算期の変更により2019年12月から2020年9月までの10ヶ月決算となっております。これにより、当第2四半期連結累計期間(2020年10月1日から2021年3月31日)は、比較対象となる前第2四半期連結累計期間(2019年12月から2020年5月)と対象期間が異なるため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は、608百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益311百万円の計上、その他の資産の増減額△512百万円、その他の負債の増減額△310百万円、売上債権の増減額△64百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、30百万円となりました。これは、主に固定資産の取得による支出14百万円、関係会社株式の取得による支出12百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により使用した資金は、47百万円となりました。これは、主に社債の償還による支出30百万円、長期借入金の返済による支出113百万円、短期借入金の純増減額100百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

株式会社アクトコールは、2021年4月1日付で、単独株式移転により完全親会社である株式会社シック・ホールディングスを設立し、同社の完全子会社となりました。2021年9月期の連結業績予想につきましては、同社が2021年4月1日に公表いたしました「株式会社シック・ホールディングスの設立及び2021年9月期連結業績予想、配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,364,319	4,677,254
売掛金	480,490	545,178
貯蔵品	288	352
立替金	1,616,354	2,097,786
未収入金	410,954	409,212
その他	139,506	179,364
貸倒引当金	△3,547	△4,446
流動資産合計	8,008,365	7,904,702
固定資産		
有形固定資産	72,620	69,323
無形固定資産		
のれん	86,819	70,731
ソフトウェア	236,730	229,240
無形固定資産合計	323,550	299,972
投資その他の資産		
その他	1,141,207	1,280,699
貸倒引当金	△15,173	△15,173
投資その他の資産合計	1,126,034	1,265,526
固定資産合計	1,522,204	1,634,822
繰延資産	2,615	2,024
資産合計	9,533,185	9,541,549

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	139,526	169,518
短期借入金	500,000	600,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	203,624	180,024
未払法人税等	113,220	102,690
リース債務	653	653
賞与引当金	27,635	38,377
預り金	2,179,415	1,900,661
前受収益	563,931	580,316
その他	388,617	361,507
流動負債合計	4,176,623	3,993,748
固定負債		
社債	80,000	50,000
長期借入金	373,208	283,196
リース債務	762	489
その他	7,411	4,322
固定負債合計	461,381	338,007
負債合計	4,638,005	4,331,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,884,636	1,885,264
資本剰余金	1,815,468	1,816,095
利益剰余金	1,130,427	1,313,055
自己株式	△424	△424
株主資本合計	4,830,107	5,013,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,177	186,739
その他の包括利益累計額合計	41,177	186,739
新株予約権	7,412	9,061
非支配株主持分	16,482	—
純資産合計	4,895,180	5,209,792
負債純資産合計	9,533,185	9,541,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	2,380,993	2,458,593
売上原価	1,199,418	1,490,389
売上総利益	1,181,575	968,204
販売費及び一般管理費	694,344	643,149
営業利益	487,231	325,054
営業外収益		
受取利息	357	299
受取配当金	234	12,233
受取保険金	2,504	—
その他	1,909	718
営業外収益合計	5,006	13,251
営業外費用		
支払利息	20,477	15,032
持分法による投資損失	3,516	8,741
支払手数料	15,922	16,496
その他	2,188	1,369
営業外費用合計	42,105	41,639
経常利益	450,133	296,666
特別利益		
関係会社株式売却益	263	—
投資有価証券売却益	21,472	14,999
新株予約権戻入益	379	139
その他	1,217	—
特別利益合計	23,332	15,139
特別損失		
固定資産除却損	13,312	—
減損損失	18,104	86
特別損失合計	31,417	86
税金等調整前四半期純利益	442,048	311,719
法人税、住民税及び事業税	124,343	121,177
法人税等調整額	5,619	7,320
法人税等合計	129,963	128,497
四半期純利益	312,084	183,221
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,232	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	306,852	183,221

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	312,084	183,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,027	145,561
その他の包括利益合計	△13,027	145,561
四半期包括利益	299,057	328,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,825	328,783
非支配株主に係る四半期包括利益	5,232	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	442,048	311,719
減価償却費	35,547	32,853
減損損失	18,104	86
のれん償却額	16,087	16,087
貸倒引当金の増減額(△は減少)	500	898
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,893	10,742
受取利息及び受取配当金	△592	△12,533
受取保険金	△2,504	—
支払利息	20,477	15,032
固定資産除却損	13,312	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△21,472	△14,999
持分法による投資損益(△は益)	3,516	8,741
売上債権の増減額(△は増加)	16,250	△64,688
たな卸資産の増減額(△は増加)	398	△64
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,644	29,991
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,572,497	△512,166
その他の負債の増減額(△は減少)	1,618,451	△310,637
その他	3,622	1,582
小計	561,712	△487,354
利息及び配当金の受取額	614	12,541
利息の支払額	△20,558	△14,637
保険金の受取額	2,504	—
法人税等の支払額	△128,611	△119,318
営業活動によるキャッシュ・フロー	415,662	△608,768
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△51,230	△14,836
投資有価証券の取得による支出	△322	△304
投資有価証券の売却による収入	28,720	15,000
関係会社株式の取得による支出	—	△12,175
関係会社株式の売却による収入	5,000	—
貸付金の回収による収入	4,498	4,552
その他	1	△23,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,332	△30,766
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	100,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△144,640	△113,612
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
自己株式の取得による支出	△56	—
配当金の支払額	△4	△0
非支配株主への配当金の支払額	—	△4,900
新株予約権の行使による株式の発行による収入	148,526	1,251
その他	△6,962	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー	166,863	△47,532
現金及び現金同等物に係る換算差額	△926	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	568,267	△687,067
現金及び現金同等物の期首残高	1,696,135	5,181,296
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,264,402	4,494,229

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて、前事業年度の有価証券報告書(追加情報)に記載しました仮定に重要な変更はありません

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2019年12月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	住生活関連総合 アウトソーシング 事業	不動産総合ソ リューション 事業	決済ソリューション 事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,554,253	171,665	655,075	2,380,993	2,380,993
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,554,253	171,665	655,075	2,380,993	2,380,993
セグメント利益	215,378	26,027	254,647	496,054	496,054

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	496,054
セグメント間取引消去	53
全社費用(注)	△8,876
四半期連結損益計算書の営業利益	487,231

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

不動産総合アウトソーシング事業で保有する事業用資産について、減損損失を特別損失に計上しております。

なお、減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において18,104千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	住生活関連総合 アウトソーシ ング事業	決済ソリューシ ョン事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,752,299	706,294	2,458,593	2,458,593
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-
計	1,752,299	706,294	2,458,593	2,458,593
セグメント利益	56,385	280,003	336,388	336,388

(注) 前連結会計年度において、不動産総合ソリューション事業より撤退しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「不動産総合ソリューション事業」は、前連結会計年度において、賃貸不動産運営事業を事業譲渡し、保有する賃貸不動産を売却したことにより、第1四半期連結会計期間より、当該セグメントを廃止しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	336,388
セグメント間取引消去	1,148
全社費用(注)	△12,482
四半期連結損益計算書の営業利益	325,054

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。